

二〇一三（平成二十五）年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程

小・中学校教科教育コース

社会科教育専修

【注 意 事 項】

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は、必ず解答用紙に記入すること。
- 三、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 四、解答時間は、一五〇分である。
- 五、解答用紙への記入は必ず横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

【問題】

資料は、『生活教育』通巻第七六五号（二〇一二年八月一日発行）三三〇～三七ページに掲載されている。吉野裕之「下出さん家のブロッコリー」である。この資料を読み、次の設問1、設問II、設問IIIに答えなさい。

設問 I

K君が何をどのように学んでいたのか、時間順に整理して四〇〇字程度で述べなさい。

設問 II

吉野先生の授業がどのように行われたのか、K君の学びをもとに、吉野先生の一連の授業を四〇〇字程度で再構成しなさい。

設問 III

吉野先生が求める「地域に根ざす学習の意味」について、この授業における題材や「子ども問い」を通じて、具体的に八〇〇字程度で説明しなさい。

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

二〇一三（平成二十五）年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程

小・中学校教科教育コース

社会科教育専修

【出題の意図】

この小論文は、当社会科教育専修にて授業をつくる力を習得するためには不可欠な資質について次の3点から問うものである。

- 一、資料に示されている子どもの学習活動を時系列順に把握する能力をみる。
- 二、子どもの具体的な学習に立脚して授業者の授業展開を吟味し整理する能力をみる。
- 三、授業者の意図と子どもの学びとの具体的な関係について考察し説明させることで、学校教育に対する合理的な理解力と適切な記述能力を判定する。